

疑問詞	でも	N
		A
		AN
		V

N / A / AN / V : 肯定形

基 本

例 文

- ① わからないことがあったら、いつでも聞いてください。
- ② A: 何か食べられないものがありますか。
B: いいえ、何でも食べられます。
- ③ このダイビング体験コースは、泳げる人だったらだれでも参加できます。
- ④ (レストランで)
A: すみません。あそこに「コーヒーおかわり自由」と書いてありますが、どういう意味ですか。
B: コーヒーを何杯でも飲めるという意味ですよ。
- ⑤ 一日観光ツアーは、どのコースでも同じ料金です。
- ⑥ A: 週末の日帰り旅行ですが、箱根と日光とどちらがいいですか。
B: どちらでもいいです。
- ⑦ (ホテルのフロントでもらったメッセージ)
「何時でも大丈夫ですから、電話してください。番号は、090-xxxx-xxxx」
- ⑧ このレストランは、どの席からでも美しい夜景を見ることができます。

- A. もの、人、時、場所、数などを制限しないことを表す。(例文①～⑧)
- B. 疑問詞には、「何、だれ、いつ、どこ、どちら、どのN、どんなN、何+助数詞」などが使われる。(例文①～⑧)
- C. 疑問詞のあとに助詞「へ、に、で、から、まで、と」が必要なときは、「疑問詞+助詞+でも」となる。(例文⑧)

先生へ

疑問詞のあとにつく助詞のうち、場所の「で」は省略されることがある。

例 そのカードは、どこ(で)でも使えます。

【関連項目】

【「れんしゅう編」の練習】

16-6 ぜひ、わたしの町に来てください